

平成26年度
太田小学校
学校図書館支援活動記録



南相馬市立中央図書館
学校図書館支援員 小泉 玲子

1 学校の概要

(1) 学校の紹介

太田小学校での支援活動は2年目となる。学区内の一部は未だに避難指示区域に指定されており、低学年は児童数が一桁となっている。支援員が入る授業やワークショップも実施しており、児童が図書にふれあう機会が数多くある。

児童が少人数ながらも図書室の活用は頻繁で、先生方とのコミュニケーションを取りながら活動を進めている。昨年度から取り組んでいる本の分類分けと活用目的にあった本の配置・掲示も進んできており、今年度は学年の学習に沿った図書の整理や場所の確認など、より充実した図書室を目指している。

今年度は、9月から27年10月まで耐震工事を行うため、工事の予定に合わせた移動の中での活動になる。

平成26年度児童数

1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
5名	7名	6名	15名	8名	12名	53名

(平成26年5月末時点)

学校派遣日数 月・火・水 週3回

図書担当教員 志賀玲子教諭

学校図書館蔵書数(4月当初) 6,203 冊

学校図書館受入冊数(3月末時点) 328 冊

うち 市費購入冊数及び金額 83 冊 (168,500円)

寄贈資料点数 245 点

2 本年度の課題

- ① 夏に予定された耐震工事に向けた準備のための移動日程に合わせ、図書をまとめておく。
- ② 学級文庫への提供や調べ学習用の資料、後期からの耐震工事に向け、児童の読書活動に支障が出ないように気を付ける。
- ③ 図書委員会の児童が自主的に仕事をできるように支援していく。
- ④ 学校図書館支援員の活用の定着を図る。

3 活動の方針

学校図書館年間活動計画(スケジュール)

	図書活用・読書指導 蔵書管理・廃棄計画	生徒図書委員会活動内容	市立図書館との連携
4月	・担当教員との打合せ ・学年オリエンテーション ・新聞、雑誌閲覧開始 ・学級文庫設置 ・壁面.春(入学・進級) ・読み聞かせ *行事等の変更以外は毎週固定。 (1学年月曜5校時15分) (2学年水曜5校時15分)	・本の貸出 (月・火・水) ・雨天の昼休みには図書 委員による読み聞かせ。	・第1回学校図書館支援会議 ・杉並文庫選書支援 (4月～6/30) ・図書の借用開始 (～3月)
5月	・分類授業 ・企画展示(友達)		・第2回学校図書館支援会議
6月	・ポスター作り ・壁面.梅雨	・ポスター作り	・第3回学校図書館支援会議
7月	・引っ越し図書梱包開始 ・企画展示(友達)	・夏の貸し出しに向けて 書架整理	・杉並文庫選書担当者チェック (4月～6/30)

	・壁面. 夏		・市費選書支援 (7/1～8/30)
8月	・図書室縮小移動		・第4回学校図書館支援会議 ・杉並文庫発注
9月	・企画展示 (秋) ・壁面. 秋	・新しい本の紹介	・市費購入本のラベル確認チェック (9/1～9/30)
10月	・2学年図書館見学 ・企画展示 (杉並文庫) ・壁面. 秋 (ハロウィーン)	・発表会練習	・第5回学校図書館支援会議 ・杉並文庫納品 ・市費発注 (9/30～10/30)
11月	・企画展示 (秋・私費新刊) ・壁面. 冬 (クリスマス)	・朝の会での発表	・市費納品
12月	・企画展示 (冬のお勧め)		・第6回学校図書館支援会議
1月	・壁面. 冬 (新年)		
2月	・図書引越し準備梱包開始 ・企画展示 (日本の昔話) ・壁面. 節分		・第7回学校図書館支援会議
3月	・図書室引越し ・企画展示 (お別れ・夢) ・壁面. 卒業		・第8回学校図書館支援会議

* 3月の耐震工事による教室移動までに年間を通して分類の整理と廃棄を進める。

4 本年度の主な活動内容

1年間の目標

- ・1学期中に廃棄本の選り出しを終了し、図書の梱包を終える。夏休み中に耐震工事のために縮小させた図書室の環境を整える。3学期は最低限必要な図書を残し、移動の準備を完了する。
- ・児童貸出目標冊数、月平均2冊以上 (年間1人20冊)。
- ・資料を持ち出すときの記入を習慣化する。

4月

- ・昨年からの図書支援活動が始まり、支援員のいる状態では、はじめて入学者を迎える。親しみを持ってもらうため、図書室の掲示は優しく明るいイメージを大切にしたい。
- ・図書室を訪れる新入生へ図書の配置や貸出の決まりを説明する。2学年、4学年には、国語の教科書の単元で分類の授業をおこなう。
- ・太田小では図書委員会をブックランド委員会と称している。1回目の委員会では係りを決め自己紹介をし合った。委員会では掲示、移動、貸出し等、児童主体で進められるように注意し活動の補助を行った。
- ・読み聞かせ2年 (毎週水曜5校時15分) ・学級文庫選書 (初回各学年)
- ・新聞ポスト制作 ・授業4年・本の分類学習
- ・授業2年・図書室でのマナー、本の分類学習



5月

- ・今年度から新聞と雑誌の購入を開始する。設置場所、利用の約束、委員会の仕事などを決める。
- ・新聞とニュース雑誌は3階に設置し、5・6年生の廊下で閲覧とする。こどものとも、かぐのともは2階、低学年の教室前へ設置。
- ・読み聞かせ2年 (毎週水曜5校時15分)

- ・未処理寄贈本受け入れ
- ・壁面取り換え（鯉のぼり企画コーナー設置）
- ・雑誌受入れ ・杉並文庫、先行市費選書
- ・ブックランド委員会活動補助

廊下の段差を利用して
1週間の新聞
を設置



6月

- ・絵本作家による読み聞かせとワークショップが行われる。日頃、図書室で慣れ親しんでいた作家からの読み聞かせやワークショップは、本をより身近に感じる嬉しい支援である。6月は貸出でも来校した作家の本が多く利用された。

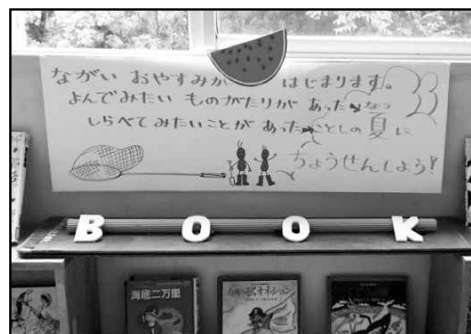


読み聞かせの後のワークショップでは、王様になった児童が自分の国旗をデザインする。

- ・読み聞かせ2年（毎週水曜5校時15分）
- ・課題図書受入れ24冊は、各学年の学級文庫に置く。
（12冊ブックオフからの寄贈、12冊太田小学校教育振興費での購入）
- ・杉並文庫、購入希望図書入力
- ・ブックランド委員会活動補助（ポスター制作）

7月

- ・夏休みの貸出は1人3冊とする。長期休暇中に図書・書架を移動する為、代本版は使用はしない。
- ・貸し出される読み物、自由研究に使用できそうな本は、クラス担任からの助言と企画や掲示の影響も大きい。
- ・積極的な関わりが内気な児童には効果があるように思う。
- ・読み聞かせ2年（毎週水曜5校時15分）、1年（毎週月曜5校時15分）
- ・ブックランド委員会活動補助 分類の確認書架整理
- ・壁面夏
- ・読書企画 夏の貸し出し夏の読み物と自由研究

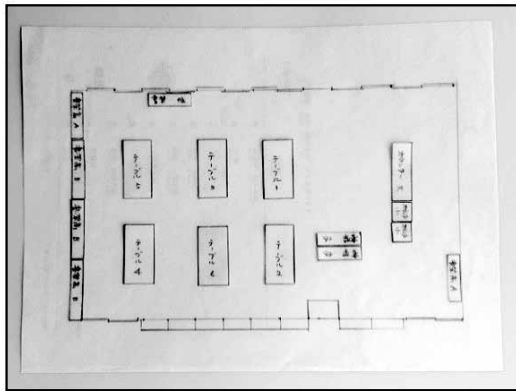


8月

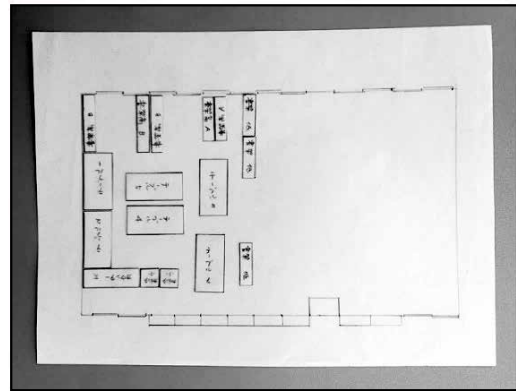
- ・耐震改修工事1期に伴う教室移動で図書室を半分に縮小し、3学年と共有することになった。夏休み中に図書室を2分の1にまとめ、移動を完了させた。中央図書館の職員には、2日間応援に入ってもらった。

【教室移動の手順】

- I 書架移動のため一度すべての本を棚から出す。
- II 使用頻度の少ない本から梱包する。
- III 事前に計測して作った図面を使い棚の移動を行う。
- IV 棚が足りない分は、学級文庫の木箱を利用し、壁面にすべて収めることができた。



通常使用の配置。



耐進工事のため後方に移動。



書架不足を木箱で補う。



図書室前方は3学年が使用。

・杉並文庫について

支援2年目の選書の中心は、物語と知識の本である。これらは、図書室の蔵書構成を考慮しながら、先生方からのリクエストに答える形で選書を実施した。



図書室内だけでは展示できず廊下にも。



新しいちしきの本がおすすめです。

- ・学級文庫選書（1. 2学年）
- ・杉並文庫搬入、受け入れ登録作業
- ・杉並文庫の本から、「読書企画展示2015」を開催。
- ・読み聞かせ2学年（毎週水曜5校時15分）1学年（毎週月曜5校時15分）

9月

- ・6年生総合授業

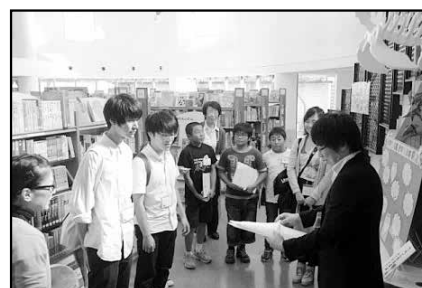
早稲田大学高橋教授のメディアリテラシーの受講生と共同で『南相馬市のよいところをCMにしよう』を制作する。児童が選んだ南相馬市の紹介したい場所に①相馬野馬追②今野畜産③太田小学校④南相馬市立中央図書館の4つが選ばれた。授業では、まず、児童と大学生がシナリオ、絵コンテを制作したのち、中央図書館での撮影が行われた。中央図書館では、職員

と支援員による館内案内もあり、児童が自慢できる場所に図書館を挙げてくれたことがとても嬉しく感じた。



天空のテラスでの撮影。

中央図書館の司書から説明を聞く大学生と6年生。



みんなで話し合いながら撮影はすすみます。

- ・読み聞かせ 2 学年（毎週水曜 5 校時 1 5 分）
1 学年（毎週月曜 5 校時 1 5 分）

- ・市費選書
- ・杉並文庫 貸出開始
- ・耐震工事のための引越し作業及び各教室から持ち込まれた図書と紙芝居などの整理

10月

- ・2 学年の児童による中央図書館見学の案内及び読み聞かせ
見学前の事前準備として、児童の図書館利用カードを準備した。なかには、すでに利用カードを所有していた児童もいる。
館内にある「おはなしの蔵」で天の川がみられることや自動貸出機の利用などが楽しかったとの感想が寄せられた。



大きくなったらマルチメディアホールで会議したいな。



便利な自動貸出機。



図書館に大好きな自動車の模型があってびっくり。



読み聞かせのあとは天の川。



天空のテラスでの記念写真。



案内したお礼にいただきました。

- ・委員会活動補助 委員会発表の練習

エプロンシアター『三匹やぎのがらがらどん』
 ・読み聞かせ2学年（毎週水曜5校時15分）1学年（毎週月曜5校時15分）

11月

・委員会活動① ブックランド委員会発表会
 出し物をエプロンシアター『三匹やぎのがらがらどん』
 に決め、3回の練習時間のみでの発表は、反省点も多いが、児童に本の楽しさを伝える送り手側の体験してもらうことができた。

同じお話でも、何回も楽しんで聞いている児童が印象的だった。

『さんびきやぎのがらがらどん』は、みんなが幼稚園生の頃から大好きなおはなし。



・委員会活動② 貸出の流れをもう一度考える
 耐震工事中のため、図書室が狭くなり返却・貸出の作業がとても混み合っているため、委員会で改善方法を話し合う。

【新しく改善された貸出のやり方】

I カードケースの設置

利用者が自分でカードを出す。

II 返却本を確認後、カードに日付記入

委員はスタンプを押し、返却する。

利用者は代本版と交換する。

III 貸出は、利用者がカードに記入し、委員はカードを回収

貸出方法の改良後、委員会のメンバー同士で練習を行った。スムーズに返却貸出がおこなわれるようになり、昼休みは沢山の利用者が訪れていた。

改善したことによって、委員会の児童が案内から片づけまでを責任を持ち楽しみながら行えるようになってきている。

・読み聞かせ2学年（毎週水曜5校時15分）

・委員会活動補助



真剣に貸出をするブックランド委員



低学年には笑顔で説明

12月



ブックランド委員によるクリスマスコーナー。

クリスマスの絵本はすべて修理。



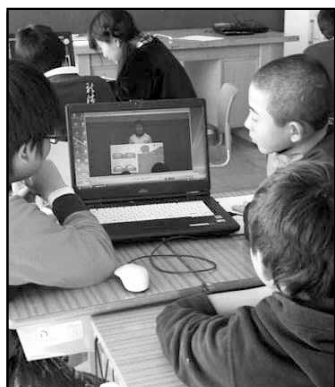


お話が大好きな
2年生。

ワークショップ
ミニツリー
づくり。



・総合授業発表会



体育館で
上映されました



自分たちのつくったCMをみる6年生。

授業参観日に保護者へ紹介されました。

・読み聞かせ2年（毎週水曜5校時15分）

1月

・お正月の掲示と企画

未年のため、毛糸で作ったひつじの展示を行う。また、年の初めの日本の風習についての掲示物や図書を集め、展示を行

った。

・読み聞かせ2年（毎週水曜5校時15分）

2月

・行事との連携

本校では、節分の日、年男、年女にあたる5年生の児童が節分集会を進行する。そのため、廊下の掲示や企画コーナーは、集会の開催される2週間前ほどに設置し、読み聞かせも関連して実施することにした。今後も児童へ季節の行事とお話が印象に残るように努めていく。



・委員会活動への支援

2週にわたりブックコートの作業を行った。本を除菌してフィルムコートをする難しい作業だったが、支援員の説明を真剣に聞き、一生懸命作業していた。作業に慣れてくると、何冊も完成させる児童もいた。また、①本を汚さない、②本の汚れを予防する、③自分の手で綺麗にすることを体験する

この活動では資料を大切に使うことの重要性を実感していたようだった。

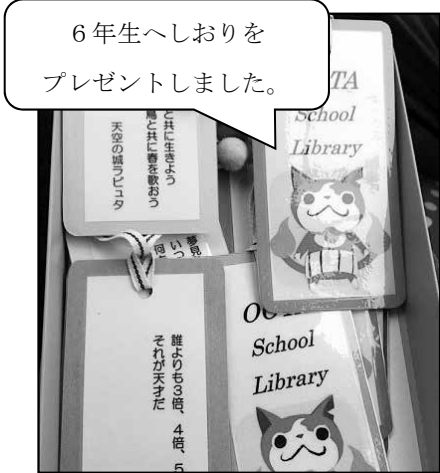


「むずかしかったけどおもしろかった。またやりたいな〜。」との感想でした。

- ・読み聞かせ2年（毎週水曜5校時15分）

3月

- ・耐震改修工事2期引越し準備、計画書作成。
- ・6年生へのプレゼント制作。
- ・後任者への引き継ぎ。
- ・読み聞かせ2年（毎週水曜5校時15分）



5 中央図書館サポート職員による支援内容

- ・杉並文庫や市費選書のアドバイスと本の分類の確認。
- ・図書室の引越、整理、片づけ等のお手伝い。
- ・ビデオCMワークショップの参観及び館内案内。
- ・学校図書室の視察見学。
- ・学校図書室に係わる相談。

6 学校図書館利用実績

(1) 年間貸出冊数

① 個人貸出冊数

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	月合計	一人当たり
4月	-	10	0	9	22	0	41	0.9
5月	19	48	15	34	26	8	150	2.8
6月	17	25	6	52	42	12	154	2.9
7月	25	27	20	71	36	12	191	3.6
8月	5	11	5	11	4	0	36	0.7
9月	21	15	4	34	19	3	96	1.9
10月	19	8	5	31	35	6	104	2
11月	11	17	8	41	30	26	133	2.5
12月	21	33	18	45	21	20	158	3
1月	10	2	3	28	7	8	58	1.1
2月	9	6	2	12	0	3	32	0.6
3月	10	4	2	11	2	0	29	0.4
学年合計	167	206	88	379	244	98	1182	22.3

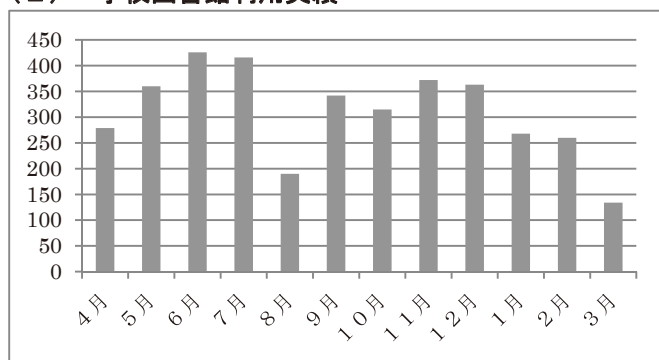
② 学級文庫貸出冊数

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	月合計	クラス当たり
4月	38	33	30	46	43	48	238	39.6
5月	30	30	30	50	30	40	210	35
6月	30	30	30	50	30	40	210	35
7月	30	30	30	50	30	40	210	35
8月	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	30	30	30	50	30	40	210	35
10月	30	30	30	50	30	40	210	35
11月	30	30	30	50	30	40	210	35
12月	30	30	30	50	30	40	210	35
1月	30	30	30	50	30	40	210	35
2月	30	30	30	50	30	40	210	35
3月	15	15	15	25	15	20	105	17.5
学年合計	323	318	315	521	328	428	2233	372.2

③調べ学習等貸出冊数

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	月合計	クラス当たり
4月	—	—	—	—	—	—	—	—
5月	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	24	4	30	58	1.1
7月	15	0	0	0	0	0	15	0.3
8月	0	0	0	0	4	0	4	0.1
9月	0	26	0	1	0	9	36	0.7
10月	0	0	0	0	1	0	1	0.1
11月	0	0	6	20	3	0	29	0.5
12月	1	12	2	0	0	0	15	0.3
1月	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	4	2	0	0	0	14	20	0.4
3月	0	0	0	0	0	0	0	0
学年合計	20	40	8	45	12	53	178	3.6

(2) 学校図書館利用実績



※個人貸出冊数、学級文庫貸出冊数、調べ学習等貸出冊数を足したもの

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
279	360	426	416	190	342	315	372	363	268	260	134

7 本年度の成果及び来年度に向けた課題

(1) 本年度の成果

- ・年間個人貸出冊数が20.1冊になり、目標の「年間一人20冊以上本を読む」ことを達成することができた。
- ・耐震工事のため縮小した図書室において、読書活動への支援を継続して実施することができた。
- ・教室移動に合わせた図書の受け入れや廃棄を実施することができた。
- ・低学年への毎週の読み聞かせを一年間継続することができた。

(2) 来年度に向けた課題

- ・中央図書館への資料提供依頼が申込用紙で申し込みがされていないため、先生方へ申込み方法の周知を行う。
- ・新図書館（配置図）の計画を夏休み前までに図書担当の教員と明確にまとめておき、必要な物品、消耗品を早めに依頼できるようにする。
- ・次年度の2期耐震工事では仮設図書室が確保できない為、中央図書館からの図書提供を定期的に行い、児童の読書活動に支障が出ないように努める。
- ・平成27年度に向け、国語科以外でも図書室の資料を授業で活用できるような支援を図書担当の教員と計画を立てておく。